

令和2年第3回伊達市議会定例会一般質問答弁書

【議員氏名】 吉野英雄（質問順位2番）

【質問項目】

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
    - (1) 市が実施した臨時交付金の事業について
    - (2) 2次補正までの臨時交付金の額並びに臨時交付金を活用した事業概要及び新たに検討している事業について
  - 2 新型コロナウイルス感染症対策のPCR検査の拡充について
    - (1) 感染震源地となっている地域での検査能力の集中について
    - (2) 市独自のPCR検査について
  - 3 新型コロナウイルス感染症下での学校再開における対応について
- 

吉野議員の「新型コロナウイルス感染症対策について」のうち「市が実施した臨時交付金の事業について」のご質問からお答えいたします。

本市では、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限にとどめるため、早急に補正予算を編成し、伊達商工会議所及び関係機関と連携して実態把握を行い、迅速な経済対策事業を実施して参りました。

実施した各種経済対策により、事業者の売上等が伸びない状況において、事業継続の支援につながったものと考えております。

次に、「2次補正までの臨時交付金の額並びに臨時交付金を活用した事業概要及び新たに検討している事業について」であります。1次補正及び2次補正を合わせて7億8千万円程度の交付が予定されております。

事業規模及び概要につきましては、現時点で、農業経営継続事業や漁業振興対策事業など、27事業9億円程度の事業計画の提出を予定しております。

次に「新型コロナウイルス感染症対策のPCR検査の拡充について」のうち「感染震源地となっている地域での検査能力の集中につ

いて」であります。感染状況の把握や検査体制の整備等は、北海道が専門家の意見を踏まえて取り組んでいるところであり、本市として北海道に要望する考えはありません。

次に「市独自のPCR検査について」であります。本市は、感染が拡大している状況にはないことから、独自にPCR検査を行う考えはありません。

次に、「新型コロナウイルス感染症下での学校再開における対応について」のご質問にお答えいたします。

まず、学校生活に関する指導に関しましては、児童生徒それぞれの状態を注意深く観察するとともに、ストレスを抱えていると感じた場合は、養護教諭やスクールカウンセラーなどを活用することとしております。

また、1学期から継続して、マスク着用や3密を避けること、調和のとれた生活を送ること、また、誤解や偏見に基づく差別を行わないことや、正確な情報や科学的根拠に基づいた行動をとることの大切さについて指導することとしております。

次に、少人数学級の実施に向けた、教育委員会としての対応につきまして、国に対し、全国都市教育長協議会をとおして、教職員定数の改善と学級編制基準の緩和について要望しておりますが、今後も継続して要望して参りたいと考えております。